

注意：国土地理院の1/25000地形図の誤記

1/25000地形図には、支流（力水支流）の記載がない。国土地理院の記載によれば、まるで登山ルートは、本沢を渡ってすぐに急登が始まるように記載されている。しかし、GPSで調査すると、登山ルートは本沢を吊り橋で渡った後は、この地図に加筆した支流（力水支流）に沿ってなだらかに150m登るルートが正しい。

### 2011.8.迷い込み死亡事故

日没後に同伴者を追って初心者の女性が懐中電灯を頼りに単独で下山した。蝶沢を渡って直進すべきところ、トラロープによる通行止めを無視して蝶沢方向へ下った。遭難捜索開始2日目に蝶沢の途中でザックカバーとストックが発見され、蝶沢を200m下ったところで浅い沢水の中で遭難者は遺体となって発見された。致命的外傷はなく、疲労困憊し低体温症で動けなくなって死したと推定された。蝶沢を渡る地点は、ルート構築上、暗闇の中で正規ルートが1mの登り返して続いていることに気がつきにくい。

標高2000m

まめうち平1910m

蝶沢を渡る2130m

蝶沢の水場

2017.7.15.登山道付近まで補水できる水量があった。  
2017.7.20.登山道付近は枯渇。10m上流に流水がわずかに見える程度。

### 2017.5.滑落死亡事故

ヒュッテ従業員の証言によると、今年5月は気温がマイナス5度以下に冷え込み、雪渓表面が融解後表面が硬く氷結してアイスバーンになっていた。